

《前橋育英高等学校 アメリカ研修 Day4 (8月19日) 報告書》

今日も快晴です。大学構内は昨日よりも人が多く、何かの準備に追われている様子。間もなく新学期がスタートするため、新入生を迎え入れる準備を進めているそうです。(いわゆる新歓です) Welcome ボードを掲げる人もいて、中には「Sorry about hills..」のボードも。ここ Cal Poly は山の中腹にあるため勾配がきつく、キャンパス内の移動もなかなか大変です。大学の1年の節目の時期に重なり、広大なアメリカキャンパスを存分に満喫しています。

午前中の授業は昨日に続き両クラスともアイスブレイクから始まりました。というのも、今朝の集合場所から教室までディレクターの Luke が案内してくれたのですが、生徒から昨日のクイズをもう一度やりたい！とのリクエストがあり、1つのクラスでは再びクイズ大会が。生徒からはどんどん質問が出ていました。束の間のブレイクにはスタバへ走り、「(時差ボケで) 眠すぎる～」とぼやきながらも、3時間の英語クラスを頑張っています。後半のスタートは2クラス合同でアクティビティを行いました。日本人同士でも一生懸命英語を話す姿に、この素直さが彼らの強さだと感じました。こちらの生活に徐々に適応していく様子が見られ嬉しい限りです。彼らの日記にも、表には出さない葛藤や奮闘が書かれており、少なからず大変な思いをしている生徒たちもいますが、少しずつ折り合いをつけながら状況を受け入れ、成長していく姿は本当に逞しく映ります。

午後はバスに揺られダウンタウンのリトルトーキョーを訪問しました。MIYAKO HOTEL の壁1面に描かれた大谷選手を拝み、文字通りリトルなトーキョー(というよりも江戸)を45分間と短時間ではありますが、散策しました。各自昼食を江戸内でとってもらいましたが、あるレストランのメニューボードを拝見したところ、白マグロ(白マグロ??) 2貫\$8.5、エビ(よく見る蒸しエビ) 2貫\$7.5、いなり2個\$7.5。どれだけ徳を積んだらこんな高級寿司をいただけるのか、物価高?円安?だけでは片づけられない衝撃的な価格設定に背筋が凍りました。(ちなみに、今日のダウンタウンはアスファルトの照り返しもあり、相当な暑さです。) レストランに入った生徒の中には「高校生だからチップは2ドルでいいよって言ってもらった♪」とまさかのチップのディスカウント(でもしっかり取る)をしてもらったペアもいました。

リトルトーキョーとは「日本人が日本文化をそのまま持ってきた街」ではなく、「日本から来た人たちがアメリカで暮らし、苦勞しながらコミュニティを築き、世代を超えて文化を残してきた街」といった方がしっくりくるそうです。近くには「全米日系人博物館」もあり、辛い歴史も交えて知ることができる街でもあるため、またいつか時間のある時に改めて訪れてほしいと感じました。

その後は再びバスで約20分、カリフォルニアサイエンスセンターへ向かいました。残念ながら引退したスペースシャトル「エンデバー」の実機は、現在新施設への設置作業中のため見ることはできませんでしたが、自由に散策したい組、ガイドのレイア&グリフィンペアと一緒に館内を回りたい組に分かれて約2時間の見学を楽しみました。体験型のブースも多く、めいっぱい楽しんだ生徒が多かったようです。

もうデフォルトになった市内からの渋滞も今日は一段とひどく、走っては止まり、止まっては走り进行を繰り返していたため「バスはもうお腹いっぱい」になっている生徒も。それでも気づいたらもう研修は折り返しです。バス内ではガイドの2名と自然に英語で盛り上がり、初めは皆同じに見えて区別がつかなかったファミリーを見つけると駆け寄り会話を交わし、4日目も終了しました。今日も色々なドラマ(珍事)が生まれていることと思います。



はい！はい！はいー！（必死で何かをアピール）



合同セッションのため先生 2 名



活気あるキャンパス 油断するとすっかり知らない学生が列に交じる



背後に大谷選手@リトルトーキョー



金子先生を囲んで@カリフォルニアサイエンスセンター



体験型ブースがいっぱいの館内



何かに勝つたらしい



お世話になった最強コンビ 2 人揃うのは今日が最後